



不審者避難訓練

7月9日(火)に唐津警察署より警察官をお呼びして、不審者避難訓練を行いました。
学校北側から図工室に不審者が入ったという想定で実施しました。

①気づいた職員が、複数名で不審者に対応する。

②子どもたちは、安全な場所に避難する。

③連絡を受けた職員は、すぐに110通報する。

(同時に区長さんに電話をして応援を依頼する。)

という基本的な動きを確認しました。

子どもたちは冷静に避難することができました。

その後、警察官の方から「いかのおすし」のお話をさせていただきました。

・知らない人には、ついて **いかない。**

・声をかけられても、車には **のらない。**

・知らない人に連れていかれそうになったら **大声をだす。**

・声をかけられたり、追いかけられたりしたら **すぐにげる。**

・こわいことにあったら **知らせる。**

子どもたちに防犯笛をプレゼントさせていただきました。(昨日渡しています)

子どもたちに「危険予知」や「危険回避」の力をつけたいと考えています。

ご家庭でも、一度話し合ってくださいますようお願いします。



不審者対応研修

児童下校後、不審者対応についての職員研修を行いました。(裏もあります)



職員から、多くの質問が出され、警察の方から助言をいただきました。

実は、警察の方には、数週間前にも学校に来ていただき、避難訓練担当の志良堂先生と教頭先生に助言をしていただいていたいました。

その時のことも含めて、助言いただいたことの一部をお伝えします。

【不審者が侵入してきた場合】

- ① 不審者に対応するときには、一定の距離を保つこと。
- ② 「さすまた」や「棒」などを相手の顔に向かって突き出すこと。
- ③ 必ず、複数名で対応すること。
- ④ 校舎外に押し出すこと。(押さえつける必要はない)
- ⑤ 複数名で、話しかけて、応援や警察がくるまで時間を稼ぐこと。
- ⑥ 刃物等をもっていた場合には、それを手放させることを最優先すること。
- ⑦ 警察に伝える時には、怪我人の有無、不審者の特徴(性別、武器の有無、服装、身長)を伝えること。

授業をしているとき、子どもの話を聞いているとき、外部と電話対応しているとき…いつ何時不審者が学校に入ってくるかわかりません。

不審者対応の専門家ではない学校職員にとって、不審者に対応することは容易なことではありません。

定期的にこのような研修を行っていくことで、対応力を向上し、子どもの命を守っていきたいと思います。

しかしながら、学校職員だけでは十分ではありません。

地域・保護者の皆様のご協力の程、よろしくお願い致します。